### 市の出来事から



回収したごみを運ぶ参加者

れいな北上川を取り戻すため落胆の声が聞こえました。き 見られ 参加者からは驚きと き

## .1.1.1 決意表明する朝日田恭博会長 の地域安全運動に先立

安全で安心なまちを目指し

て

真城小落成式

待望の桜開花に歓声響く

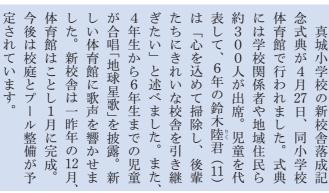
水沢地区少年警察ボランティ関係者など約200人が出席。 す」と決意表明しました。式「犯罪のない地域社会を目指ア協会の朝日田恭博会長は 沢署管内 と防犯を呼び掛けました。 で街頭啓発に出動。 沢署管内の両運動出動式が4の地域安全運動に先立ち、水の地域安全運動に先立ち、水 出席者は交通指導車など 交通安全

## 市民の参加で北上 川をきれ い に

おめでとう!百歳を祝い記念品

北上川流域一斉清掃活動が4月20日、水沢・江刺・前沢で行われました。地域住民ら約560人が参加し、河川沿いを歩きながら、雪解けで目立ち始めたごみを集めました。

# 表して、6年の鈴木は約300人が出席。



開花した桜を指差す園児たち

駒形保育園

(山下量子園長、

が同公園を訪れ、待望の開花くわく組ぞうグループの13人園児235人)の年長児、わ

を喜び合

市は4月17日、水沢公園内にある桜の開花を宣言しました。開花したのは推定樹齢約年より4日早く咲いた数輪の桜を確認し、小沢昌記市長が桜を確認し、小沢昌記市長が

## 新しくなった真城小学校の校舎

家族に囲まれ喜びをかみしめる米冶さん

7人、ひ孫2人に恵まれましまれ、24歳で故・サタさんとまれ、24歳で故・サタさんとお婚。3男1女をもうけ、孫 した。野菜をしっかり食べるた。稲作などの農業に励み、 簾森=に記念品を贈 市は4 た菅原米冶さん=前沢区字 日に満百歳を迎 り、 長寿

### わか やなぎ

■代表者:会長 亀井 欽一

■人 口: 2,529 人 (男 1,210 人/女 1,319 人)

■世帯数:731 世帯 ■拠 点:若柳地区センター

(胆沢区若柳字相馬檀144番地 **省**@3148·**四**@3227)

(平成25年3月31日現在)



どがあり、

焼石岳へと続く国

ス

キー場や温泉、

胆沢ダムな

観光スポットであるひめかゆ

若柳地区は、

胆沢区の主要

ーズ13回目は、胆沢区の若柳地区振興会を紹介しま特色のある地区振興会の事業を紹介するこのコー

胆沢区の若柳地区振興会を紹介します。

ナ

シ

内の中央を通っています。美道397号と広域農道が地区

業を展開しています。 振興」「産業振興」「福祉環境」 すらぎとうるおいの郷」 で20年度に策定した若柳地区 から特徴的な事業を紹介しま ちづくりを目指して、 コミュニティ計画を基に「や 「教育文化」の4部会の構成 3月に設立。現在、 その中 各種事 「地域 のま

### 心 れあい庭払い まつり

昔は各家庭で行われていたこして、労をねざらう行事です。り、農家の人たちが庭を掃除  $\mathcal{O}$ みのとおり庭を払うことが語 祭り。 毎年11 年の農作業が全て終わ 「庭払 月に開催して い」は、その読 いるこ

> した募金箱に集まったお金などを販売。収益金と設置陸前高田市・広田産の海産物 した。 能の披露、野菜の展示、 となり取り組んで 農耕文化の流れを組む一 を広田漁協に寄付しました。 海鮮市場」を開催しました。 体からの発表などを行 数えました。 イベントとして、 昨年は特別企画「復興支援 地域の伝統芸 地区民 、ます 各団 1 体 大 ま





お盆前の土曜日に開催す

イベント。昨年度で24回をり上げようと企画し、始めた特ちを込めて、地域全体を盛の行事は、収穫への感謝の気

す。

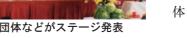
若柳地区振興会は、

平

成 20

を基幹産業とする田園地域で

しい散居集落が広がり、稲作



「七夕飾り」は行政区や地元 福祉施設などが工夫を凝ら 展し、祭りに華を添えました。 展し、祭りに華を添えました。 工団体の主催するこの祭りは、 ゴゲー り る神輿担ぎ、 に足を運び、 昨年は700人ほどが会場 盆前の時期ということもあ て定着しつつあります。 総参加の「夏の風物詩」とし り」をテーマに、各行政区民 ニューアル。「身近なま会との共催という形で 人まで楽しめるさまざまな しみました。 たもので、 ベントを企画しています。 帰省客も多く来場します ムなど子どもから大 主催で行われて 23年度からは振興 夏の夜祭りを楽 七夕飾り、 子ども会によ ビン お つり



七夕飾りと子ども神輿

通量も多いところです。 気持ちよくドライブしてほ ため、車で通行する観光客が 幹線道路が通ってお 同地区は国道39 環境整備事業 b, 号など 交

ん。取 り げて え、 を企画。 え、胆沢ダムの完成や28年の行や焼石岳の登山客などに加 施。従来の秋田県方面への通ラシ配りなどの周知活動を実 汚染防止啓発活動として、チが頻繁になる時期には、道路 が頻繁になる時期には、道路農業用機械の道路への出入り 行っています。農繁期な路の草刈作業を地域一 が多く見込まれます。 ら、6月と9月に いというという地区民の声か わて国体 組みに余念があ それぞれ8日間、 いらなる環境美化へいらなる環境美化へ などによる観光客 農繁期など、 . 「草刈デ ŋ その 体で道 ませ



草刈デーのぼり

15 広報おうしゅう

自慢になることで

は、これからも若柳地区民のに活用したオリジナルの祭りマックス。地域の人材をフル